

# 熊大通信

vol. 86  
2022 Autumn

特集Ⅰ

地域に「ひらく」  
「人」で地域を元気に

特集Ⅱ

KUMADAI PRODUCTS  
～熊本大学発！オリジナルグッズ～



知の  
至宝

(左上) 中門に取り付けた骨組みを杉の小枝で覆った緑門が作られた。  
(右上、下) 運動会は多くの市民が見物に訪れた。

## 開校記念日

五高では、1890(明治23)年10月10日に開校記念式を行って以来、この日を開校記念(記念)日として祝っていた。

当日午前中に行われる式典は、校長や教員総代、生徒総代の祝辞が述べられるなど厳粛なものだったが、習学寮の夕餉は<sup>ゆづり</sup>大晩餐会として賑やかに催された。

記念日直後の日曜日は、年に一度、学校が一般市民に公開される日となり、中門を覆う緑門が設けられ、老若男女を問わず多くの市民が訪れた。

10時を期して始まる大運動会は、飴食い競争やむかで競走など見て楽しめる競技が多く、幼稚園児による遊戯や来賓による樽ころがし、観客を巻き込んでの借り物競争など、市民も一緒に楽しめる内容であった。

一方、敷地内の建物では、写真や漫画、洋画や書道などの作品展が開催され、こちらも多くの見物人を集めていた。夜になると講堂で音楽部の演奏会が催され、詰めかけた市民と生徒で身動きもできないほどだったと伝えられる。

普段は、生徒の家族であっても敷地内に足を踏み入れることができない五高だったが、開校記念日の公開によって市民に広く親しまれる存在となっていた。

文 藤本秀子 (五高記念館)





※球磨中学校を出発する電動スクールバス。8月3日に実証実験のオープニングセレモニーが開催された  
(セレモニーについては20ページで詳細をご紹介しています)

未来へつなぐ。  
— 熊本大学とSDGs —



球磨村で2022年7月から、環境省の「中山間地域における電動マイクロバスの評価検証委託事業」の実証実験が始まった。地域の小中学生のスクールバスに電動マイクロバスを利用するもので、日中に再生可能エネルギーで充電し、朝と夕方に走行。その他の時間は、地域や災害時の電源として活用する。これまで全国で行ってきたEVバスの実証実験の成果も踏まえながら、地域のサステナビリティとレジリエンスに貢献する電気自動車の社会実装が新たな一歩を踏み出した。

大学院先端科学研究部  
松田 俊郎 シニア准教授  
MATSUDA Toshiro

## CONTENTS

- 03 特集Ⅰ 地域に「ひらく」  
「人」で地域を元気に
- 11 研究室探訪 がん患者とその家族に寄り添った  
看護支援を学ぶ  
医学部保健学科看護学専攻  
大学院保健学教育部 保健学専攻看護学コース  
國府 浩子 教授
- 13 特集Ⅱ KUMADAI PRODUCTS  
～熊本大学発！オリジナルグッズ～
- 17 卒業生ジャーナル
- 19 KUMADAI TOPICS
- 22 熊本大学基金よりお知らせ

表紙 / 【原画】大学院教育学研究科 松永 拓己 教授  
白馬に乗る学生と先生

### 熊本大学広報誌 熊大通信 vol.86

\*皆さまのご意見・ご感想をお寄せください。

【発行】 国立大学法人熊本大学  
〒860-8555 熊本市中央区黒髪 2-39-1  
Tel.096-342-3119 Fax.096-342-3110  
(総務部総務課広報戦略室)  
sos-koho@jimmu.kumamoto-u.ac.jp

【編集】 熊大通信編集委員会  
茂木 俊伸 / 委員長 大学院人文社会科学研究所 (文学系)  
安高 啓明 / 大学院人文社会科学研究所 (文学系)  
松永 拓己 / 大学院教育学研究科  
松永詩乃美 / 大学院人文社会科学研究所 (法学系)  
原岡 喜重 / 大学院先端科学研究部 (理学系)  
黒田 雅利 / 大学院先端科学研究部 (工学系)  
坂梨 京子 / 大学院生命科学研究部 (保健学系)  
首藤 剛 / 大学院生命科学研究部 (薬学系)  
濱洲 里美 / 総務部総務課広報戦略室

【制作】 株式会社 談

※取材にあたっては、基本的な感染防止対策をとった上で実施し、撮影時のみマスクを外しております。

※記載の職名、学年等は取材時のものです。



【熊本大学の地域連携ビジョン】



熊本大学を核に地域課題を解決

# 人で地域を元気に

特集 I 地域に「ひらく」

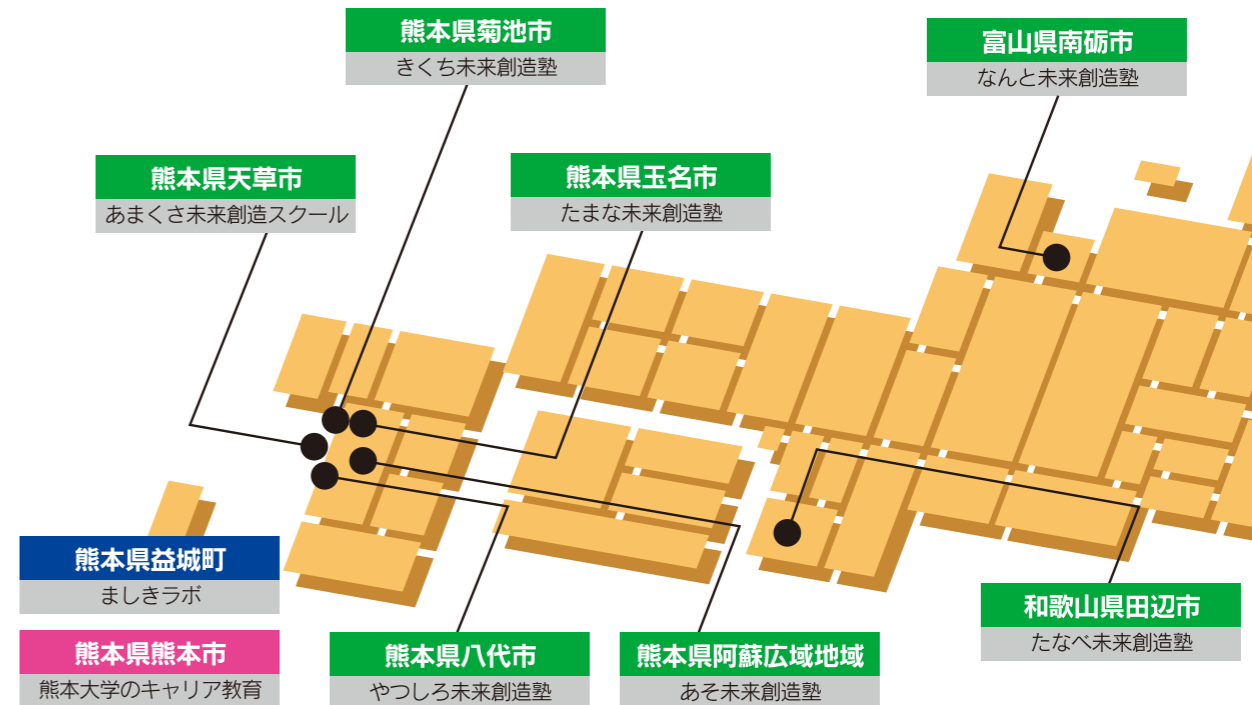


人材を育て、地域を興す熊本大学

今、国を挙げて進められている地方創生。そのためには、「人材」の育成が不可欠です。地域課題を解決し、地域を興し、将来の日本を支える。そんな人材を育てるため、熊本大学では様々な取組が進められています。

熊本大学が連携する  
主な地域プロジェクト

## 実施地域



地方大学の存在意義  
「地方創生」

なぜ今、地方創生に熱い視線が注がれるのか。それは、何が起るか予測しづらい現代社会において、「人が都会に一極集中して暮らすことにはリスクが伴い、ある程度分散してバランスよく暮らすことが不可欠で、そのためには地方でも豊かに暮らせるよう地域課題を解決する必要があるからです」と甲斐広文教授。ビジネス面では、都会のように何もかもそろっているわけではない地方の「課題解決そのものに、事業展開の大きなチャンスがあると、改めて見直され始めたからです」。

「自分の足元にこそある魅力と可能性を、若い人々にもっと知ってもらいたい。その役割を担うのが熊本大学」と甲斐教授は話します。その一つが、地域で事業を承継する若手事業者を対象にした「地域再生人材育成塾」です。ビジネスの発展を、地域課題につなげられる事業者を育成しています。すでに多くの塾生が塾修了後に新事業をスタートさせており、事業稼働率の高さは特長の一つです。

少なくとも4年間を熊本で過ごす熊大生に対しても、熊本を知るカリキュラムが整備されています。その一つが、キャリア科目の「地方創生実践論」等の講義。地域再生人材育成塾を共催する自治体の首長や

塾生なども講師となり、各自治体の政策やビジョン、地域でのビジネスの課題などを、毎年150名から200名の学生に伝えていきます。

「大学ですから、先進的かつ特色ある研究や教育を行うことは当然です。それに加えて、人材育成を通して地方創生の核となることは、地方大学の大きな存在意義でもあります」と甲斐教授。地方創生を学問として提供し、課題解決能力を実地で身につける「学び」ができるのは、地方大学だからこそ。「地域の魅力を知り、課題を解決し、将来の日本を支える人材を育てているのが、熊本大学です」。

さらに、「地震や豪雨などの自然災害からの地域復興に寄り添うことも、地方大学の使命です」と甲斐教授。復興を支えることはもちろん、災害が起こったことで見えてくる地域課題の解決にも力を尽くすこと。そうやって地方での豊かで幸せな暮らしを実現することは、「熊本大学をはじめ、地方大学にしか担えない役割だと考えています」と話します。



副学長  
(戦略、地方創生・地域連携担当)  
熊本創生推進機構 副機構長  
甲斐 広文 教授  
KAI Hirohumi



地域課題を見出し仮説を立てるための自治体人材育成研修



STEP1 自治体の職員研修

意欲ある人材へ塾参加を呼びかけ



STEP2 課題解決につながる地域人材を勧誘

地域の「今」や地域ビジネスの先進事例の講義、ビジネスプランの組み立て方などを学び、自分のビジネスとして立案、発表



STEP3 地域再生人材育成塾開催

地域再生人材育成塾が 地域課題解決につながる仕組み

協力機関として参加する地域金融機関が、塾生の熱意を見ながらビジネスプランづくり、資金調達を支援



STEP4 地域金融機関が支援

農産物を活用した加工品開発



交流人口を生むマルシェ開催 農産物を活用したメニュー提供

STEP5 修了後、プロジェクトが開始！地域を元気に！



STEP6 塾生、OBが新連携し、さらなる地域ビジネスを展開！

地域再生人材育成塾のカリキュラム例 (あそ未来創造塾の場合)

あそ未来創造塾では、10月から3月にかけて、月2回ほど講座が開講されました。

回数	カリキュラム
第1回	開講式
	オリエンテーション 【あそ未来創造塾が目指すもの】 トークセッション 【あそ未来づくりに求められるものとは】
第2回	講義 【地域活性化論】新たな地域づくり、企業行動 など
	ディスカッション【企業はどうあるべきか】
第3回	講義【超高齢社会ビジネスの可能性】
	ディスカッション 【介護・生活支援領域におけるビジネスチャンスはどこに】
第4回	ケーススタディ 【高千穂の里山資源を活かした販売ビジネスについて】など
	ケーススタディ 【阿蘇地域資源を活用した商品開発と販路開拓】
第5回	講義 【地域活性化論】人口減少が引き起こす地域課題と地方創生
	ケーススタディ 【たなべ未来創造塾が目指すもの】
第6回	たなべ未来創造塾でのプロジェクト事例
	講義 【地方活性化論】新たな地域づくり・子育て世帯の移入
第7回	ディスカッション 【子育て世帯の移入とビジネスの両立】
	全体演習 1行コンセプトの発表
第8回	全体演習 3行コンセプトの発表
第9回	全体演習 中間プレゼンテーション
第10回	全体演習 最終プレゼンテーション、修了証授与
第11回	

2つ目の特徴は、金融機関が全力で汗をかいて関わること。「熊本大学の地域再生人材育成塾には、日本政策金融公庫や熊本県信用保証協会の職員たちが開講時から

6〜7割の新規事業稼働率 金融機関による支援も万全

画する力が欠かせません。その力をまず自治体職員につけてもらうことが、ビジネス成功の第一歩。この塾では各自治体の職員が熊本大学の民間等共同研究員という立場で塾の運営に携わっています。

自治体と金融機関、そして大学がタッグを組み、共創する体制「熊大モデル」があるからこそ、計画した事業の、早い段階での実現が可能になります。塾修了後の事業稼

毎回出席しています。金融機関の関わり方としては特徴的です。彼らは、塾生のビジネスモデルだけではなく、塾生自身のやる気や個性もしっかり見ています。塾開講期間中受講生のビジネスプラン作成の現状を把握するために事務局ヒアリングが実施されますが、この時も金融機関の職員が同行します。塾では、ビジネスに不可欠な資金調達の仕組みも用意され始めています。

熊本大学 × 人材育成

地域とともに、仕事を興す 地域再生人材育成塾

多くの塾生が誕生！新たな事業で地域を元気に

2021年にスタートした、熊本大学熊本創生推進機構の「地域再生人材育成塾」。各自治体と協働し、未来創造塾の名称で開催されるこの取組について、金岡省吾教授に伺いました。

あそ未来創造塾には中小企業金融の円滑化を図る公的な保証機関である「熊本県信用保証協会」も参加し、塾生と議論を重ねた

サステイナブルな地域と なるために ビジネス創出を



内閣府は地方の人口減少や少子化に歯止めをかけようと、「地方創生を施策の柱の一つ」として掲げています。この地方創生に本気で取り組み、地域を活性化しようというのが、熊本大学の地域再生人材育成塾です。この塾では、連携する地域や自治体ごとに11人〜15人ほどの受講生が学び、地域課題の解決につながるビジネスの創出に取り組みます。

地域が持続していくためには、そこに住み続け、経済活動が行われる必要があります。地域課題の解決をビジネスにする人材が地域で活躍することが、活性化に不可欠と言えます。そのような人材を育成するため、この塾では、金岡教授による地域活性化論や地域活性化の先進事例の紹介、受講者自身のビジネス創出計画作成などのカリキュラムが組まれています。この取組は、文部科学省が提唱した持続可能な開発のための教育「ESD」に寄与すると評価されており、SDGsの観点からも注目されています。

本気の地域再生は、自治体職員との共創から

「この塾は、従来の自治体単位で行われ

てきた地域づくり人材育成事業と大きく異なります。だからこそ、成果をあげられる特徴があるんです」と金岡教授は説明します。



熊本創生推進機構 地域連携部門長 金岡 省吾 教授 KANAOKA Shogo

「1つ目は、地域人材の育成のために、まず自治体職員との共創(育成)を図っていること。参加者の目的は、意欲ある移住者の起業、事業を親から承継した若手経営者の第2創業など、地域で生きていくビジネス創出。成功するには、地域にどんな課題があり、その解決策として用いられる資源は何かという共通ゴールを大学と自治体が共有(共創)します。この共創をもとに、自治体職員は、「この人」と思う人材に塾参加を呼びかけます。例えば冬春トマトの生産量日本一を誇る八代では、出荷できない廃棄トマトが大量に出ます。飲食店ならばこれを活用し農家や地域の収入増を図れるのではないかと、飲食店に塾参加を呼びかけました。結果として呼びかけた自治体職員の「仮説は実を結び、農家と飲食店による新たなビジネスが誕生しようとしています。」ビジネス創出には、地域全体を俯瞰してみた結果何が求められるかを企



「塾のキーワードは『カッコいい大人』を『かっこいい』です」と、金岡教授は目指す人づくりについて話します。「この塾によって、地方創生に情熱を燃やす自治体職員や塾生が地域が増えていく。塾生は農林業、建設業、食品製造販売など、業種は様々だが、みんな 地域のためにやることをビジネスにしよう」と知恵を絞り汗をかいている。そんな大人たちを見て、次世代の子どもたちが、自分も地元でこんな大人になりたいと憧れる…憧れられる大人を育てたい」

カッコいい大人を目指す次世代に向けても、熊本大学は動き始めています。熊本市以外の各市町村にも高校はありますが、地元の高校に行かずに熊本市内の高校に進学する中学生、さらに熊本県外の大学へ進学、就職する高校生は少なくありません。「地元の魅力や、地元にあるチャンスに気づいてもらうには、高校から」と金岡教授は考えています。「富山では、地域課題解決に取り組むキャリア教育でブランド

し販売を始めています。同じく昨年度の天草市の受講生の中には、昨年度中に福岡市に天草の食材を使った飲食店をオープンした人もいます。

**地域の「カッコいい大人」育成と新たな高大連携を目指して**

**走り始めた塾生たち**

今ままでになかった地域人材育成の取組に対する、自治体の期待は大きなものがあります。各地域の塾開講式では、首長たちが参加し、塾生に直接その期待を語っています。阿蘇地域振興デザインセンターの理事長である高橋南小国町長は、「あそ未来創造塾」第2期スタートにあたり、「地域課題解決にとって最も重要なのは『人』だと自論を述べ、塾生らに向けて「皆様のよう

に熱い思いを持った方々が増えていくことが、何よりの地方創生である」とエールを送りました。

塾修了後の塾生たちもその期待にこたえ、それぞれのビジネスプラン実現に向けて走り出しています。

例えば、令和3年度の阿蘇地域の受講生は、早速令和4年度になり地熱珈琲を開発

**塾長からのヒトコト**

各地の塾では、自治体の首長が塾長として参加しています。塾長からは、受講生の活躍に期待する声が寄せられました。

地域の課題や、自身の生業における課題を解決するために、自身の強みや地域資源を生かし、新たな価値やビジネスを生み出すのが、未来創造塾。行政、民間が一体となって、新しいビジネスモデルが創出されることを期待します。

たまな未来創造塾 塾長  
玉名市長  
蔵原 隆浩氏



地方自治体が抱える課題に対し、全国の地域と連携しているのが地域再生人材育成塾の大きなポイント。今回生まれた挑戦の種火が地域に伝播し、阿蘇地域の大きなうねりにつながっていけばと願っています。

あそ未来創造塾 塾長  
阿蘇地域振興デザインセンター理事長  
南小国町長  
高橋 周二氏



天草の未来を拓く新しい力を作っていくのがこのスクール。第1期生も活躍しており、天草の未来をつくる第一歩が動き出しています。新しいチャンスを活かしながら、天草を変えていただきたいと思います。

あまくさ未来創造スクール 塾長  
天草市長  
馬場 昭治氏



やつしろ未来創造塾は、「競争」ではなく異業種の方がつながる「共創」事業です。1期、2期の修了生は地域課題の解決とビジネスを両立し、事業を実行しています。今後も、自社・自身の課題解決を目指して、一歩を踏み出す機会になればと思います。

やつしろ未来創造塾 塾長  
八代市長  
中村 博生氏



田辺では6期で70名の修了生を輩出。塾生稼働率は70%を超え、シティプロモーションアワード2021では金賞、特別賞/人材育成賞の受賞などで評価され始めました。熊本大学と共創することで、熊本県の5地域、富山県南砺市へと広がっているこの塾。全国レベルで連携することでさらに前進していきたいと思っています。

たなべ未来創造塾 塾長  
田辺市長  
真砂 充敏氏



やつしろ未来創造塾での金岡教授による講義



たなべ未来創造塾で発表する塾生



あそ未来創造塾での熱のこもったディスカッション

**参加者の声**

「塾では、非常に多くの学びと刺激を得ることができました。様々な事例から、産山村でもできるという可能性を感じられたこと、そして、多くの人とつながったことが財産です」



あそ未来創造塾 1期生  
井 崇晃 さん  
農家。阿蘇郡産山村で生産される米を使った甘酒の製造販売を開始。

**参加者の声**

「会社設立と時期を同じくして塾に参加したので、これから会社をどうしていくのか、地域課題や自社課題に向き合いながらビジネスプランを考えることができました」



あそ未来創造塾 1期生  
大野 希 さん  
阿蘇郡高森町への移住者。一般社団法人TAKARA MORI 設立と同時に塾参加。





熊本大学  
×  
復興支援

# 地域とともに、まちを再生 ましきラボ

## より力強いコミュニティへ。その道のりをともに

熊本地震後、益城町に創設された「ましきラボ」。創設以来ずっと、行政や住民の地域づくりに寄り添い続けるラボの取組について、ラボメンバーの星野裕司准教授に話を伺いました。

毎週土曜にましきラボで開催されるオープンラボでは、地域住民の様々な相談に、学生と職員で対応している



熊本大学  
×  
キャリア教育

# 地域とともに、人材を育てる キャリア教育

## 熊本を舞台に地方創生を学び、課題解決能力を磨く

社会変革が激しい時代に必要不可欠な「課題解決能力」。熊本の地域を知り、課題を考え解決策を導き出す多様な科目が整備された熊本大学のキャリア教育について、熊本創生推進機構の内山忠准教授に伺いました。

キャリア教育科目から生まれた球磨焼酎のブランド力向上プロジェクト。焼酎カクテルのレシピ開発などに取り組んだ



**住民一人ひとりの思いに耳を傾ける**

平成28年熊本地震で大きな被害を受けた益城町。その復興のために、大学の知見や技術を役立てることを目的としているのが、「コンテナを組み合わせたユニークな施設「ましきラボ」です。これまでに、住民との対話、ワークショップ、イベントなど様々な活動を行い、益城町に寄り添ってきました。

「大きなものでは、県道高森線の4車線化です。合意形成まで、熊本大学は自治体と住民の間に第三者として立ち、双方とのコミュニケーションを図りました」と話す星野准教授。公的な問題だけではなく、「例えば、同じ場所に家を再建しても大丈夫なのか、という町民の方の悩みに答えたり、所有地内の地震の遺構を残すお手伝いなど、様々な相談に対応しています。益城は梅の産地なので、梅仕事のお手伝いなんかもやっています」

また、「町民の方と、地域を歩き魅力を再発見するような活動もあります。地元の人には当たり前のことでも、外から来た人間には魅力的。私たちと一緒に歩いて自分の地域の魅力に改めて気づき、地域興しに取り組みされた方もいます」



くまもと水循環・減災研究教育センター  
星野 裕司 准教授  
HOSHINO Yuji

実は、今ある地域の課題は、地震前からあったもの。災害で顕著になった課題の解決に向けた行動を起こすことに、ましきラボが寄り添うことで、「腹をくくることができた住民の方々がいる」と星野准教授は話します。また、学生にとっても貴重な学びの場です。運営に携わる工学部土木建築学科の学生は将来、仕事として各地のまちづくりに関わる可能性も持っています。「知識だけでまちづくりはできません。ましきラボで現場を知り、地域の方の声を聞くという経験は、彼らの将来の自信につながると思います」と星野准教授。「大きな目標を達成したら終わりではなく、活動を続け、続ける中で新しい出会いとニーズにまた寄り添うこと。それがましきラボの役割だと話してくれました。」

**課題解決に「腹をくくる」  
お手伝い**

**どんなときも  
課題に向き合える人材に**

「課題解決を含め多様な経験を蓄積できることが、大学時代の学びやキャリアデザイン

「熊本大学では、地方創生を中心とした取組や実践例を学び、学生のキャリアデザインを考える科目『地方創生実践論』や『地方創生企業戦略論』では、毎年企業や行政から外部講師を招いて異なる分野の視点から講義をしています」と内山准教授。課題解決型の科目では、現地調査や客観的資料をベースにデータ分析やデザイン思考から地域課題の発見と解決に向けた論理的な提案を組み立てます。単なる提案（解決策）ではなく、実社会で実践できるように、地元企業や行政と連携して実現に向けた視点も考え、実践の一步に取り組みます。その実践科目「地方創生プロジェクト演習」は、実社会の課題をテーマにした総合的なスキルを育む課題解決型科目であり、実際に地域に向いて課題を解決するフィールドワークを行います。課題発見と解決を繰り返すことで学生たちは、時代に即した必要なスキルを身につけることができます。

**外部講師による講義や  
フィールドワークも**

インにおいて重要な要素であり、社会に出ても必要な学びや課題解決に向き合える姿勢を深めます」と内山准教授。熊大生がキャリア科目の授業で取り組んだ、球磨焼酎のブランド力向上を目指したプロジェクトでは、販促、広報、観光の3つの部門に分かれて学生たちが活動。経済産業省の「令和2年度全国地域ブランド総選挙」では、優秀発掘賞を受賞しました。現在では「Trio」というサークルで活動が受け継がれ、活動が続いています。

このキャリア教育で課題解決能力を身につけた人材が、熊本の地で活躍してくれるのならそれは素晴らしいことです。しかし、「人生百年と言われる時代で、小学校から大学院までを入れても学びの期間はたったの18年。社会で働く期間の方が圧倒的に長いわけです。そこで暮らしてどんな仕事にしても、課題（困難）に向き合える人材を育成するのがキャリア教育の目的です」と内山准教授。1年次からキャリアデザインを考えていくことで大学時代に必要な学びを自ら考えるだけでなく、自ら行動する力を身につけます。



熊本創生推進機構  
地域連携部門  
内山 忠 准教授  
UCHIYAMA Tadashi



■ 研究室の特徴

- ① 臨床経験のある学生が多い  
「看護師としての専門性を磨きたい」と、臨床経験のある看護師が大学院生として入学してきます。ゼミでは様々な経験を生かした意見交換が行われます。
- ② 修士課程・博士課程合同ゼミ  
学生主体のゼミで、博士課程の学生が修士課程の学生に助言や指導を行います。コロナ禍をきっかけにオンライン開催となりましたが、県外在住の学生も多いので、今後もオンライン開催を続けていく予定です。
- ③ 病院実習を重視  
学部生の指導では、現場経験ができる実習を特に重視。「未熟な学生にも、考えればできることがある」と國府先生は一人ひとりを励ましながら指導を行います。



熊本 Breast Care Nursing 研究会には学生も参加



実習先での様子



学生から一言!

研究室に所属している学生に研究の魅力を聴きました!

終末期のがん患者さんと向き合える看護師の教育プログラムを開発したい



大学院保健学教育部  
博士後期課程  
保健学専攻看護学コース1年  
おだ まりこ  
小田 真理子さん

修士・博士の合同ゼミで、お互いに刺激になります



大学院保健学教育部  
博士後期課程  
保健学専攻看護学コース3年  
はぎわら ともこ  
萩原 智子さん

終末期のがん看護に関する研究をしています。終末期の患者さんには様々な苦悩があり、その患者さんと向き合うことは、看護師にとっても非常に困難なことだと言われています。修士課程で、がん看護の専門看護師の方にインタビューをして、死を意欲した患者さんとの関わり方についての研究をしました。博士課程では、その研究を進展させ、患者さんと真正面から向き合える看護師を育成する教育プログラムの開発をしたいと考えています。私自身、現場で終末期の患者さんと向き合うのが難しかった経験があり、「どうしたら向き

どんな研究を?

肺がんが進行し、手術ができない患者さんが、自分らしく療養生活を送れるための看護支援に関する研究を行っています。がんの治療法はいろいろありますが、私は抗がん剤治療に着目し、投薬をすることによって、どんな支援を行うとよいか、具体的な支援内容を考えています。投薬回数を重ねてもがんが進行したり、過去の薬の影響が出ることもあります。薬の特徴や患者さんの状態、生活上の困り事を知ることができ、適切なケアについて、看護師に向けた教育プログラムの開発を目指しています。

どんな研究を?

國府先生の研究は一貫して看護の視点を大事にされているので、「先生のもとで学びたい!」と思いついて、國府先生を訪ねました。ゼミは、修士課程と博士課程の合同で行います。修士の学生にとっては先輩の意見が聞けるし、博士の学生にとっても後輩の研究は刺激になります。國府先生は、学生の意見交換が活発になるようにファシリテーションをされます。自分の言葉で語ることができる雰囲気、学ぶ姿勢を高めてくれていて感じています。

研究室の良いところは?

がんに関する貴重な研究をされている國府先生と、がん看護の現場で経験を積まれた専門性の高い先輩方が多くいらっしゃる研究室なので選びました。先輩方と一緒に学べるゼミは貴重な機会だと感じています。たくさんの刺激を受けながら、学びを深めていきたいです。

研究室を選んだきっかけは?

合えるようになるだろう?」と思うようになったのが研究のきっかけです。

研究室探訪 Laboratory Report

医学部保健学科看護学専攻  
大学院保健学教育部  
保健学専攻看護学コース

國府 浩子 教授

KOKUFU Hiroko

がん患者とその家族に寄り添った看護支援を学ぶ



先生から一言!

研究室では、がん看護に関する研究、がん看護専門の看護師や乳がん看護認定看護師の教育、それに関する研究を行っています。患者さん主体のケアができる看護師を育てるため、患者さんやその家族に寄り添いながら、知識を生かしていくことを伝えています。学生の研究テーマの多くは、乳がん看護のケアや終末期のケアに関するもの。院生の中には専門看護師や認定看護師もいるので、患者さんに直接結びつくテーマが多いです。また、社会貢献の面では、病院や地域に関係なく、どこでも同じようなケアが受けられるように研修会などの活動を行っています。

がん看護に関する研究や看護師を教育



大学院生命科学研究所  
Nurs Dr.J  
國府 浩子 教授



# KUMADAI PRODUCTS

熊本大学発！オリジナルグッズ

熊本大学の研究成果や課外活動での取組から生まれた熊本大学発の製品や、生協などで購入できるオリジナル商品をご紹介します！

## 偶然からの大発見！世界初、吟醸香豊かな分裂酵母の芋焼酎

池の露 湯島 The Highest Yeast

販売場所 熊本大学生協同組合学生会館ショップ  
たちばな商店、三嶋屋、猪本酒店ほか



「池の露 湯島 The Highest Yeast」  
(500ml 3,000円)。限定 1020本  
は一週間ではぼ完売しました

きっかけは  
イチゴから発見された  
分裂酵母のアルコール発酵

2022年4月、大学院先端科学研究部(理学系)の谷時雄教授らが開発した「分裂酵母ジャポニカス Kumadai-T11号株」を使った芋焼酎が発売されました。

谷教授は、長年RNAの研究に力を注いできました。実験には、遺伝子の構造がヒトの遺伝子構造に近い分裂酵母をよく使います。10年ほど前、イチゴか

ら見つかった分裂酵母ジャポニカスを培養中に機械が故障し、アルコール発酵してしまいました。実験は失敗です。しかし、大吟醸酒のような香りに気づいた谷教授は、「これでお酒が造れるのではないか」という着想を得ました。

単なる培養の失敗で終わらせなかったのは、「酵母は友達」と自認する研究者としての興味と、香りの良さに魅せられたからでした。全国にある大学ブランドのお酒の多くは、農学部が

開発したものの。谷教授は「基礎研究を主体とする理学部の発展性をアピールできるし、おいしいお酒で皆が笑顔になれる」と考えて開発を進めてきました。

お酒の多様性を広げる！  
天草酒造とのタッグで  
生まれた新しい芋焼酎

酒類の醸造に通常用いるのは出芽酵母で、二分裂で増殖する分裂酵母は約5億年前に進化の段階で分かれた全く異なる酵母です。分裂酵母ジャポニカスを活用した世界初の酒造りは、醸造に適した酵母株の育種から始まりました。

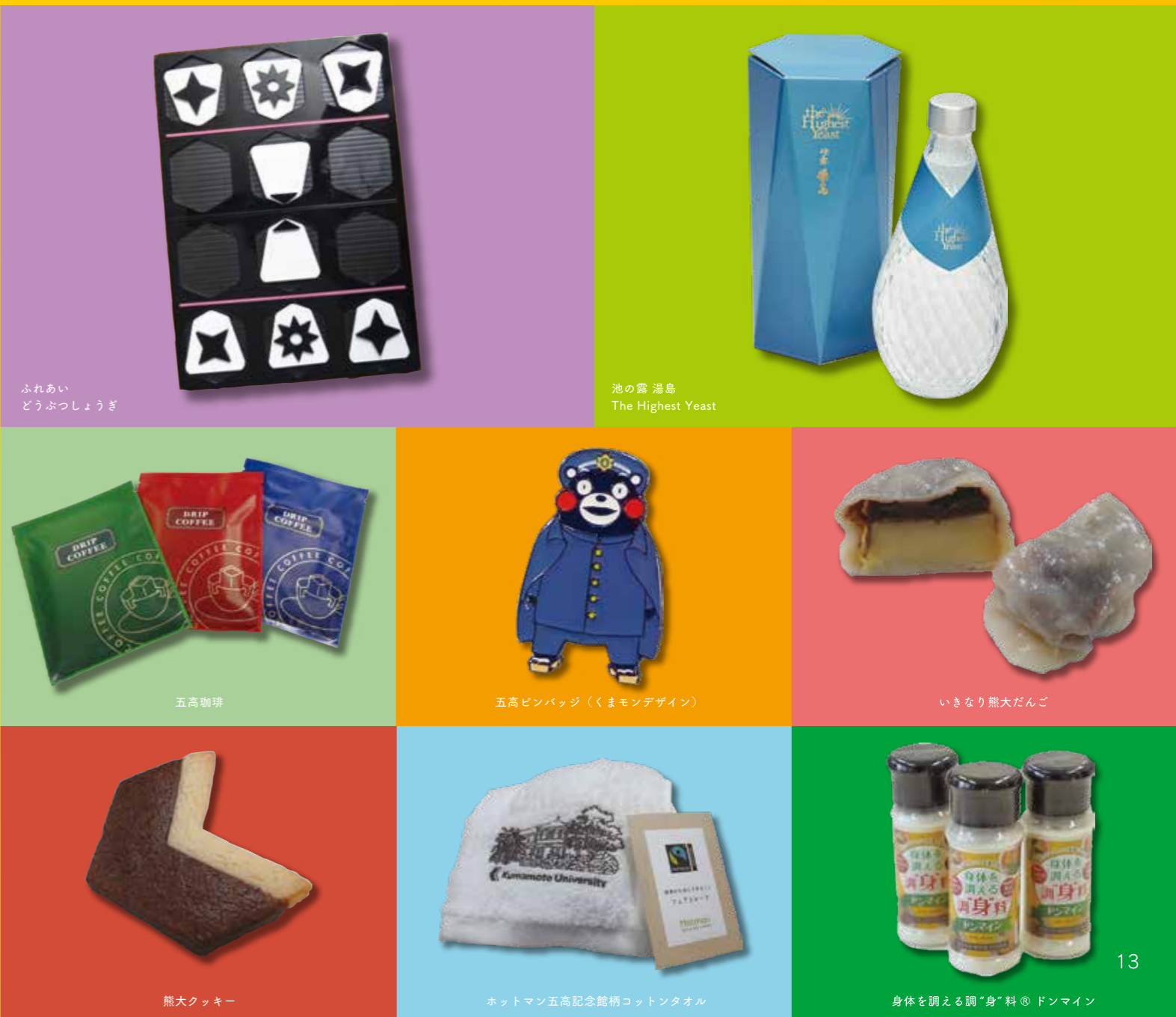
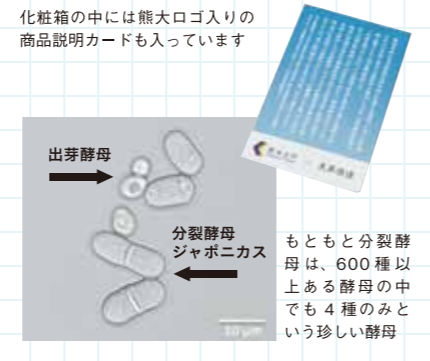
大吟醸酒の香り成分であるカブロン酸エチルの高生産株を選別し、さらに発酵や増殖能力の高い株を選別。より良い香りの株の育種を地道に行い、ようやく誕生したのが「Kumadai-T11号株」です。天草市の天草酒造と協力して、芋焼酎を製品化。上天草市・湯島のさつま芋の風味と、豊かな吟醸香をまとった芋焼酎に仕上がりました。

2022年7月には、べ



大学院先端科学研究部(理学系)  
TANI Tokio  
谷 時雄 教授

ンチャービジネスのアイデアを競う「熊本テックブラングランプリ」の最優秀賞を受賞。「これを全国展開への足掛かりにし、熊大発の酵母が世界に広まるのも夢ではありません。こうした新しい試みをするのが、地域における大学の使命だと思います」と語る谷教授。芋焼酎は次の仕込みもできており、来年再び販売されます。



ふれあい  
どうぶつしょうぎ

池の露 湯島  
The Highest Yeast

五高珈琲

五高ピンバッジ (くまモンデザイン)

いきなり熊大だんご

熊大クッキー

ホットマン五高記念館柄コットンタオル

身体を調える調「身」料® ドンマイ



大学のコミュニケーション  
マーク型の甘さ控えめクッキー

熊大クッキー

1箱10枚入り 1,620円(税込)

熊本のお菓子メーカー「お菓子の香梅」とコラボしたクッキー。プレーンとココア生地で作った大学マークでお土産にも人気です。

黒髪 本荘 大江



3種類の味わいが  
楽しめるオリジナル焙煎

五高珈琲

200g入 621円(税込)

100g入 324円(税込)

社会福祉法人「武蔵焙煎工房」が作るオリジナルのコーヒーです。深煎り、レギュラー、浅煎りの3つの味わいがあり、それぞれ粉、豆、ドリップの3タイプがあります。

黒髪 本荘 大江



ふりかけるだけでOK!  
大学認定ベンチャーの人気商品

身体を調える  
調“身”料® ドンマイン

40g 540円(税込)

熊本大学認定ベンチャー「株式会社サイディン」の開発商品。シクロデキストリンの効果で、食事にふりかければ中性脂肪・血糖値の抑制効果があるそうです。

黒髪 本荘 大江

※同社のオンラインショップでも購入可能。



熊本大学  
オリジナルグッズ

黒髪・本荘・大江キャンパス  
の生協等で  
買える!



フェアトレードコットン使用の  
ふわふわタオル

ホットマン五高記念館柄  
コットンタオル

1枚 1,450円(税込)

老舗タオルメーカー「ホットマン」のタオルに五高記念館を刺繍しました。フェアトレードコットン使用で吸水性にも優れています。

黒髪 本荘 大江



熊本の郷土のおやつもオリジナルで!

いきなり熊大だんご

1個 152円(税込)

地元お菓子メーカー「さつまや菓舗」とコラボした郷土のおやつ。ほどよい甘さの粒あんどさつまいもの組み合わせが絶妙です。病院のお土産としても人気。本荘地区の恵和会売店限定。

本荘 (ねむのき・セブン-イレブン)

五高生になった  
くまモンがかわいい!

五高ピンバッジ  
(くまモンデザイン)

690円(税込)

帽子とマント、下駄姿で五高生になったくまモンのピンバッジ。熊本大学だけの限定販売です。

黒髪 本荘 大江

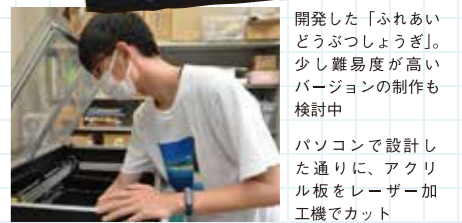


目の不自由な子どもたちにも  
将棋の楽しさを伝えたい!

ふれあいどうぶつしょうぎ

工学部の公認サークル「Soleil(ソレイユ)」は、目の不自由な子どもたちが楽しく学べる教材の開発に取り組みしています。2011年に盲学校向けの教材を開発したグループに始まり、都道府県の位置や形を触れて学習する地図のバズルや音が出る点字タイプライターを開発、寄贈を続けてきました。現在、工学部の学生を中心に約30人が活動を続けています。

ボードゲーム好きな  
学生の思いから生まれた  
誰もが楽しめる将棋



開発した「ふれあいどうぶつしょうぎ」。少し難易度が高いバージョンの制作も検討中  
パソコンで設計した通りに、アクリル板をレーザー加工機でカット

人とも一緒に遊べないかと発案し、2021年に完成したのが「ふれあいどうぶつしょうぎ」です。  
ベースは、棋士の北尾まどかさんが考案した将棋の入門版「どうぶつしょうぎ」。12マスの中で4種類の動物の駒を進めて対戦し、将棋の王将と同じ役割のライオンによって勝敗が決まります。これをユニバーサルデザイン化し、五角形の駒に進む方向や種類が分かる立体パーツを付けました。色は白と黒を使い、弱視の人にもやさしい仕様になっています。



ヤスリを使って  
手作業で磨き、  
専用接着剤で  
パーツなどを  
付けます

さんにもアドバイスをもらい、改良を重ねました。1つの駒に複数のパーツや同じような角や辺があると、手触りだけで判別するのが難しくなるので、形には特に苦心しました」と陶山さんは話します。

助成金を利用して  
全国の盲学校へ寄贈

2022年1月、一般財団法人日本文具財団からの助成を受けて、全国67の盲学校に各3台、計201台を寄贈しました。生徒からのお礼の手紙や、一緒に遊ぶ子どもたちを目にしたメンバーは、ものづくりで社会貢献できる喜びを実感



これまでに、音声付きの点字タイプライターや触って都道府県を学習するパズルなども開発

しています。本年度は学内の「きらめきユースプロジェクト」の支援を受けて、引き続き寄贈を行う予定です。  
盲学校の教材は恒常的に不足しており、教育現場からも期待の音が寄せられています。「純粹に自分の目指すものづくり、誰かのために役立つものづくりができた経験は、私の財産です」と、工学部材料応用化学科4年の矢竹結稀さん。陶山さんは「企業では対応しづらい、小さなニーズをすくい上げるような活動ですが、今後必要な人に届けていきたい。支援が届きにくい存在があるという目線は、持ち続けていきたいです」と話してくれました。



盲学校用  
教材開発  
普及サークル  
Soleil  
ソレイユ



## 文 アイデア次第でどこまでも面白くできる仕事、毎日刺激的で楽しい



中村 彩乃

NAKAMURA Ayano

株式会社九州博報堂 (福岡県)

文学部文芸科 令和3年3月卒

平成10年生まれ。福岡県北九州市出身。福岡県立東筑高等学校卒業。高校時代は吹奏楽部でフルートを担当。大学時代に古着と映画と焼酎が好きになりました。休日はミニシアターに行きます。

熊大のココがイイ!

勉強と遊びのバランス感がちょうど良い学生が多い。

### 実は東京の大学に行きたかったが、合格できた熊本大学へ進学

恥ずかしながら、大学受験を目前に控えた私の夢は「東京の大学に行つて遊びたい!」という下心あふれるものでした(笑)。しかし、合格できたのは熊本大学だけ。「読書が好き」という理由で文学部を選びました。結果的には良かったのですが、入学後に想像と違うこともあったので、事前に調べておく大切さを痛感しました。

### 勉強も遊びも全力で。想像の100倍充実した学生生活だった

講義がとても楽しく、2年までの講義で映画表現に興味を持ち、最後は人の倍以上ある卒論を書くほどのめり込みました。また最高の友人にも出会い、サークル活動や旅行など、4年間全力で遊びました。熊本は街のカルチャーも面白く、古着屋で働きながらいろんな人と出会うなど、想像の100倍充実した学生生活を過ごしました。

### 広告の企画・制作や企業ブランディングなど、毎日が刺激的

現在は、広告会社でプランナーとして働いています。キャンペーンの企画やCMの制作といった広告会社らしい仕事から、新商品の開発や企業ブランディングといった大きな仕事まであり、毎日が刺激的で楽しいです。アイデア次第でどこまでも面白くできる仕事なので、頭を悩ませながらも日々頑張っています。

## 理 子どもも大人も楽しめるお菓子を世界に発信したい



横井 祐美

YOKOI Yumi

株式会社不二家 菓子事業本部生産本部生産部 (東京都)

理学部理学科 平成26年3月卒  
大学院自然科学研究科博士前期課程理学専攻  
平成28年3月修了

熊大のココがイイ!

上通・下通まで歩いて行ける! 嘉島町から自転車で通える!

### どんな進路に進んでも良いように、人生で一番勉強した

高校時代、どうしてもやりたい職業はありませんでした。どんな進路を選んでも良いように人生の中で一番本を読み、一番勉強をした気がします。1日2~3冊のペースで、ジャンルに関係なく本を読んでいた。人に教えることが好きだったので、「地元で教員になると親孝行になるかな?」と何となく考えていました。

### 多くの講義を受け、高校教師の専修免許を取得

親にお金を出してもらっているんで、できるだけ多くの講義を受けました。おかげで高校教師の専修免許も取得。研究室に配属されたからは実験三昧でしたが、飲み会も好きだったので、研究室で朝まで飲むことも...。4年から学会にも参加し、難しい話を簡潔に分かりやすく説明する技術は、ここで備わった気がします。

### 高校教師になる前に企業へ就職、会社の核となる部署に所属

学校以外の組織を見てみようと思い、不二家に就職しました。初めての配属は品質管理で、チョコレート製造の全てに関わっていました。現在は、工場で生産している全ての商品の販売や在庫状況から毎月の生産数量を決め、損益試算をする会社の核となる部署で働いています。子どもも大人も楽しめるお菓子を世界に発信したいです。

## 医 医療従事者と患者さんの双方にとってより良い医療の実現を目指す



岡本 良祐

OKAMOTO Ryosuke

アクセンチュア株式会社 テクノロジーコンサルティング本部 (東京都)  
メドメイン株式会社 (福岡県)

医学部医学科 令和3年3月卒

熊大のココがイイ!

様々な分野の最先端研究の話が直接聴くことができる。

### 自分の将来を本気で考え、医師になりたいと思うようになった

地域ならではの生活、歴史、文化を調べることが好きで、民俗学に興味を持っていましたが、心からなりたいたいと思える職業を見つけられずにいました。高校3年で部活動を引退した後に、初めて自分の将来を本気で考えたときに、地域の人々の健康に貢献し、生活を見守ることができる医師になりたいと思うようになりました。

### 大学の勉強だけでなく、興味のあることになんでも挑戦!

ポート部に所属し、3年までは部活動に明け暮れていました。朝練後に急いで大学に戻り、講義に出席していたのは良い思い出です。4年以降は、病院での実習に励む一方で、語学やITの勉強、スタートアップへの参画など、興味があることになんでも挑戦。その中で様々な人と出会い、世界が広がったことは貴重な経験でした。

### 医療現場が抱える課題をテクノロジーの力で解決したい

現在は、医療分野を含むデジタルトランスフォーメーション領域のコンサルタントとして勤務しながら、学生時代に参画した医療ITスタートアップ企業で、医療AIやクラウドサービスの開発に関わっています。医療現場が抱える課題を、テクノロジーの力で解決したいと考えています。医療従事者と患者さんの双方にとって、より良い医療を実現するために頑張っています。

## 法 「法曹の卵」として日々学び、年内には弁護士として始動



平田 恭介

HIRATA Kyosuke

司法修習生 (福岡県)

法学部法学科 平成26年3月卒  
大学院法曹養成研究科 平成29年3月修了

熊大のココがイイ!

(観光地までのアクセスが)早い、(物価が)安い、(食べ物)旨い

### 警察官になることが夢だった高校時代

高校生のころは、警察官になることが夢でした。特に、警察庁勤務という、いわゆるキャリア官僚に憧れていた記憶があります。その理由は、はっきりとは覚えていません。某刑事ドラマのように、レインボーブリッジを閉鎖したかったのかもしれないし、こち亀が大好きだったからかもしれません(笑)

### 勉強でも、遊びでも、友人に恵まれた大学生活

友人に恵まれ、楽しく自由に過ごした大学生活でした。数百人単位で花見をしたり、24時間ぶっ続けで飲み会をしたり、3日間徹夜したこともありました。今思えば、若さという特権を遺憾なく発揮していたと思います。勉強面では、優秀な友人によく教を乞うていました。彼ら彼女らには、今でも頭が上がりません。

### 司法試験浪人生活・法律事務所での修行を経て、司法修習生に

大学院修了後は、弁護士となるべく、長期の司法試験浪人生活を送っていました。その間、地元の法律事務所でも事務員見習いとして修業させてもらっていました。現在ではその甲斐あって、司法修習生という「法曹の卵」として日々学んでいます。今後順調にいけば、年内には弁護士として始動する予定です。

## 薬 薬学の楽しさを感じながら働いています



橋口 直隆

HASHIGUCHI Naotaka

有限会社アップル薬局 本部長室 (熊本県)

薬学部薬科学科 平成21年3月卒  
大学院薬学教育部博士前期課程生命薬科学専攻  
平成23年3月修了

熊大のココがイイ!

先生と学生のほどよい距離感。“緩く”接していただき感謝しています。

### 漠然と薬学部を意識し、進路指導の先生から熊本大学を勧められた

高校生のころは、特に夢はありませんでした。進路の選択肢が多いかもと、なんとなく理系に進みました。また、父が薬剤師であったことから、漠然と薬学部への進学を意識し始めました。国立大学の薬学部に絞って進路先を考えていたところ、進路指導の先生から熊本大学を勧められ、推薦入試を受験しました。

### 本気で遊んだ学生生活。試験前は友達の家で一夜漬け

振り返ると、学業よりも遊びの思いばかりです(笑)。サッカーサークルの活動や飲食店でのバイト、音楽活動(DJ)など、本気で遊びました。ほとんどの遊びは夜に始まり、朝方に終わっていたので、試験前は友達の家泊まり込み、一夜漬けをしていました。

### 未来の薬剤師のために、情報発信にも注力

スタッフの仕事が円滑にいくように、患者対応に関する参考資料などのメンテナンスをしています。また、毎日違う店舗に行き、薬剤師としても働きます。大学生のときに気づけなかった薬学の楽しさを感じています。社訓のひとつに「仕事の一部は未来の薬剤師のために」とあるので、薬学専門紙に寄稿するなど、情報発信にも力を入れています。

## 工 社会でどのように貢献できるかを意識しながら業務に従事



山崎 剛志

YAMASAKI Takeshi

パナソニックホールディングス株式会社 (大阪府)

工学部機械システム工学科 平成23年3月卒  
大学院自然科学研究科博士前期課程機械システム工学専攻  
平成25年3月修了  
大学院自然科学研究科博士後期課程産業創造工学専攻  
平成28年3月修了

熊大のココがイイ!

地域に根差した大学で、近隣住民の方々から親切にしていただけのこと。

### 将来の方向性を吟味し、ロボットの研究開発を目指す

幼少期からロボットに興味があり、その分野の研究職に就くことに憧れていました。しかし、他の分野に移り替えることもあり、オープンキャンパスなどを通して、関心のある学部を見学して、将来の方向性を絞り込んでいきました。最終的には工学部への進学を決定し、人と社会の役に立つロボットの研究開発を目指しました。

### 人に恵まれ、賑やかに過ごした学生時代

学部生のころは、講義後に友達と遊んだり、下宿先の大家さんや下宿生と談笑したり、子どもたちに勉強を教えたりと比較的のんびり過ごしていました。大学院進学後は忙しくなることが増え、学会や論文提出前などは大変でしたが、先生方や友人、先輩後輩に支えられながら、楽しく乗り切ることができ、今では良い思い出です。

### 大学時代に身につけた「考える習慣」を活かしながら研究

現在は各種製品の工法への適応を目的とした、様々な要素技術開発に関する研究を行っています。大学在籍時の研究を通して身につけた、「誰のためにどのような技術が必要か」を常にフィードバックして考える習慣を活かし、自分の担当分野が社会にどのように貢献できるかを意識しながら業務に取り組んでいます。



本学の卒業生たちの今に迫る「卒業生ジャーナル」。

熊本県内はもとより、国内外で活躍している先輩たちの様子を、これまでの歩みや苦勞、そして喜び、楽しみなどを通じてご紹介します。

## 教 育児をしながら教員生活を送っています



清田 明日香

KIYOTA Asuka

熊本市立河内中学校 美術教諭

教育学部中学校教員養成課程 平成24年3月卒  
大学院教育学研究科修士課程教科教育実践専攻  
平成26年3月修了

熊大のココがイイ!

市街地に近いのに、森の中のように緑豊かな環境。屋外でよくランチしてました。

### 生涯をかけて美術に関わっていきたいと思うように

高校入学当初は、卒業後は就職と考えていました。しかし、徐々に学ぶことの楽しさに気づき、1年の夏休みに担任の先生から大学進学を勧められました。大好きだった美術が、古典や地理、数学、化学などいろんな教科と結びついていることに気づき始めたとき、生涯をかけて美術に関わっていきたい、と思うようになりました。

### アルバイトをしながら、朝から夜まで作品制作していた日も

教員になるために熊本大学に入ったので、将来に生かせるように大学祭の実行委員に入りました。3年以降は、朝6時から研究室でラジオ体操、日中は作品制作をし、夕方からアルバイトに出かけ、終わったら研究室に戻って夜23時まで制作...なんて日々もありました。4年のときには、1年間フランスへ留学しました。

### オンライン授業など、変化する教育現場に対応

大学院修了後、教員になりました。出産を経験し、現在は育児をしながら働いています。教育現場の環境は、どんどん変化していています。例えば、ICT機器を用いた授業運営やオンライン授業など。先輩の先生方に機器の使い方を教えることもあります。校則の見直しなど、これからも柔軟に対応していくことがありそうです。



**REPORT** 第7回熊本テックプランングランプリで谷時雄教授らの研究グループが最優秀賞を受賞しました

7月16日に、熊本県次世代ベンチャー創出支援コンソーシアムが主催する「第7回熊本テックプランングランプリ」が開催され、大学院先端科学研究部(理学系)の谷時雄教授らの研究グループが、エントリーした全26チームの中から最優秀賞に選ばれました。

同コンソーシアムは、熊本県・肥後銀行・熊本大学・熊本県工業連合会・リバネスの5者によって組織され、熊本県内の次世代ベンチャーの創業支援プログラム「熊本テックプランター」を運営しています。同プログラムの一環として、次世代ベンチャーの発掘・育成することを目的に、平成28年から「熊本テックプランングランプリ」が開催され、今年で7回目の開催となりました。

書類審査を通過した9チームが、同コンソーシアム及びパートナー企業からなる審査員に対して、7分間のプレゼンテーション及び4分間の質疑応答を行い、最優秀賞と各企業賞の選考が行われました。

本学の受賞チームは以下のとおりです。

**最優秀賞:** 大学院先端科学研究部(理学系) 谷時雄 教授  
「分裂酵母ジャポニカスkumadai株の育種と応用: 熊大酵母の全国展開」

**優秀賞、Taisho FRC賞:** 大学院先端科学研究部(工学系) 田邊将之 助教  
「エコーの民主化を目指して」

**リアルテックファンド賞:** 産業ナノマテリアル研究所 國武雅司 教授  
「食品の抗酸化能その場測定技術」



最優秀賞を受賞した谷教授のチームジャポニカスkumadai



参加者による記念写真

※谷教授の研究内容は、14ページでも紹介しています。

**REPORT** 球磨村電動スクールバス実証試験開始セレモニーを開催しました

8月3日に、熊本県球磨村での電動スクールバス実証試験開始に伴い、バスの試乗を兼ねたセレモニーを球磨中学校で開催しました。

本件は、環境省の委託事業として熊本大学(大学院先端科学研究部松田俊郎シニア准教授)が受託し、熊本県、球磨村と共同で開始しました。代表的な中山間地域であり環境省が認定する「脱炭素先行地域」でもある球磨村で電動スクールバスを運行し、再生可能エネルギー連系によりCO2排出量を低減する技術開発、移動可能な非常電源としてのバスの活用を含めた実証試験を行うことで、カーボンニュートラル化、エネルギー地産地消、地域交通のグリーン化など中山間地域が抱える課題に対する効用を明らかにし、全国の中山間地域に電動スクールバスを普及することを目指す取組であり、令和2年7月の記録的豪雨で被災した球磨村の創造的復興にも貢献することが期待されています。

セレモニーには関係者ら約90名が出席し、式典後に行われた試乗会では「モノレールに乗っているような感じでした」「排気ガスの匂いもしないし、CO2削減もってこいだと思います」「昼間に充電して、それを夜間や必要な時に使うアイデアは非常に素晴らしい」といった感想が寄せられました。



左から、上迫大介環境省九州地方環境事務所次長、松谷浩一球磨村長、小川久雄学長、舟戸治生球磨村議会議長、松田三郎熊本県議会議員、小原雅之熊本県環境生活部長

※松田シニア准教授の研究内容は、1~2ページでも紹介しています。

**INFO** 熊本大学キャンパスミュージアムシンポジウム「デジタル技術が切り開く地域文化財の未来」を開催します

【日時】 令和4年10月15日(土) 13:30~16:00(13:00開場)  
【場所】 工学部百周年記念館  
【参加対象者】 どなたでも参加いただけます。  
【申込方法】 下記URLまたは二次元バーコードよりお申込みください。  
https://forms.gle/ckJFzKSArxygwwQ6  
事前参加登録が必要です。(申込締切10月7日(金))  
【参加費】 無料  
【問い合わせ先】 熊本大学キャンパスミュージアム推進室  
TEL:096-342-2864 E-mail:museum@kumamoto-u.ac.jp



**REPORT** 理化学研究所と連携・協力に関する基本協定を締結しました

6月17日に、理化学研究所と連携・協力に関する基本協定を締結しました。

本協定は、両者が相互に協力可能な全ての分野において、それぞれの研究開発、人材育成等の具体的な連携・協力を、互恵の精神に基づき効率的に推進することにより、我が国の科学技術の発展及びSDGsの達成等世界の課題解決に寄与することを目的としています。

締結式には、理化学研究所からは五神真理事長、小安重夫理事、宮園浩平理事の3名が、熊本大学からは小川久雄学長、大谷順理事、井口英樹研究・社会連携部長の3名が出席しました。

当日は、共同研究等の研究協力、研究交流及び人材交流、人材育成の相互支援、研究施設・設備の相互利用等、本協定の目的達成のため相互に連携し協力していくことについて、懇談が行われました。



左から井口部長、大谷理事、小川学長、五神理事長、小安理事、宮園理事

**REPORT** 三大軽金属協会と先進軽金属材料国際研究機構との包括的連携協定合同締結式を開催しました

6月17日に、熊本大学と富山大学が連携して設置する先進軽金属材料国際研究機構(ILM)は、三大軽金属協会(日本アルミニウム協会、日本マグネシウム協会、日本チタン協会)と包括的連携協定を締結しました。

同機構は、マグネシウムの研究拠点である熊本大学とアルミニウムの研究拠点である富山大学が連携し、アルミ・マグネ・チタンの三大軽金属を総合的に扱う組織として令和3年度に設置され、今年度からは国の共同利用・共同研究拠点の認定を受けています。

本協定の締結により、産業界との組織的な連携を促進し、研究者の人的ネットワークの拡張を図り、軽金属研究のさらなる発展、高度人材の育成、ひいては日本の産業競争力向上に貢献することが期待されます。



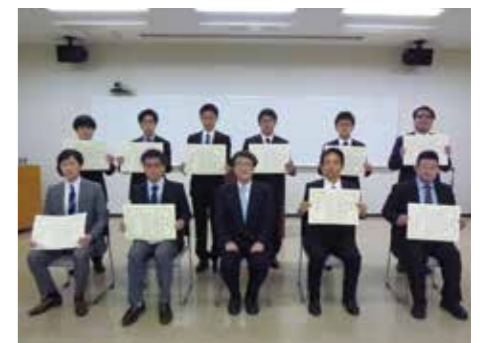
左から、河村能人機構長、齋藤滋富山大学長、小川久雄学長、能登靖日本アルミニウム協会専務理事、井上正士日本マグネシウム協会会長、三木基日本チタン協会専務理事

**REPORT** くま医もん基金(田崎基金)による研究助成金贈呈式を開催しました

7月4日に、大学院生命科学部において、くま医もん基金(田崎基金)研究助成金の贈呈式を開催しました。

くま医もん基金(田崎基金)研究助成金は、医学部医学科教育研究支援事業(医学教育・研究基金)に多額のご寄附を賜りました田崎巖様のご意向に沿って、研究意欲がある基礎医学分野の若手研究者へ研究費の助成を行うものです。

研究内容等の書類選考を経て11名が採択され、贈呈式では採択者に賞状が授与されました。



山縣和也研究部長(中央)と受賞者

令和4年度 くま医もん基金(田崎基金)助成者一覧

	氏名	職種	係・講座	研究題目
1	金森 耀平	助教	シグナル・代謝医学	傷害肝における鉄代謝の新たな意義の解明
2	仁田 暁大	助教	シグナル・代謝医学	Hippo経路の転写制御因子YAPとTAZの機能差から読み解く細胞運命の決定機構
3	幸脇 貴久	助教	免疫学	感染・炎症と神経疾患を繋ぐ新規分子LBA1の機能解析
4	高島 謙	助教	免疫学	核小体構成因子による新規B細胞クラススイッチ制御機構
5	中條 岳志	助教	分子生理学	ハダカデバネズミ28S リボソームRNA が切断される意義の解明
6	堤 博志	助教	法医学	メタボロミクスを用いた催眠鎮静薬中毒バイオマーカーの探索
7	菅原 太一	助教	生体微細構築学	精祖細胞の分化に適した微小環境が創出される機序の解明
8	津山 友徳	特任助教	健康長寿代謝制御研究センター	低酸素誘導性因子BHLHE40によるインスリン分泌抑制機構の解明
9	堀口 晴紀	特任助教	共同研究講座(再春館・先進老化医学)	免疫応答機構を維持する分子メカニズムの解明
10	古川 翔太	特任助教	法医学	動物モデルを用いた出血様式の違いが局所的循環障害と血液凝固障害に与える影響の研究
11	永芳 友	助教	総合分子医学	COVID-19特異的修飾ヌクレオシドと疾患重症化メカニズムとの関連



## 熊本大学基金へのご協力に感謝し、心より御礼申し上げます。

№59（令和4年5月1日～令和4年7月31日）

卒業生の皆様、在学生の保護者の皆様、法人・団体の皆様、本学の退職者及び教職員の皆様から、これまでに約17億1574万円（令和4年7月31日現在）のご寄附をいただき、研究・教育に資する事業に取り組みさせていただきました。皆様のご協力に厚く御礼申し上げます。

今号では、令和4年5月1日から7月31日までの間に入金を確認させていただきました個人81名、8法人・団体の寄附者すべての皆様へ感謝の意を込め、ご芳名を掲載させていただきます。公開を希望されない寄附者の皆様につきましては、掲載しておりません。

また、万一お名前に記載漏れがある場合は、誠に恐縮ではございますが、基金事務室（電話：096-342-2029）までご連絡ください。皆様のさらなるご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

基金の取組事項については、基金ウェブサイトに掲載しております。  
熊本大学基金ウェブサイト <https://kikin.jimu.kumamoto-u.ac.jp/>



熊本大学基金 検索

### 1. お名前・寄附金額の掲載

（寄附金額別、五十音順・敬称略にて掲載させていただきます。） ※（ ）内の数字は、累計寄附金額（万円）です。

#### <熊本大学基金>

【100万円】	株式会社久仲工建(500)						
【50万円】	医療法人社団英山会平山泌尿器科医院ひらやまクリニック(50)	熊本医学会(500)					
【20万円】	遠竹 泰(20)						
【5万円以下】	秋吉 樹(1)	猪俣 紘一郎(26)	草野 龍二(40)	黒下 知展(0.5)	近藤 光弘(4)	永井 陳雄(3)	藤好 建史(10)
	古田 泰邦(3)	堀尾 里美(1)	宮田 将徳(7)	宮本 真次(5.6)	本島 昭男(27)		

### 2. お名前のみ掲載

（五十音順・敬称略にて掲載させていただきます。） ※[ ] 内の数字は、累計寄附回数（回目）です。

#### <熊本大学基金>

牛島 共一 [2]	岡本 哲夫 [2]	加藤 克彦	河野 奈津子	木下 朋弘	楠田 靖紀	興梠 博次 [4]	佐藤 征男
眞田 功 [2]	下岡 靖宜	高崎 正文 [2]	田上 正 [2]	千島 英一 [8]	辻田 太志	西川 毅 [5]	西牟田 康博 [6]
波多野 恭行 [24]	馬場 秀夫 [17]	林田 直子 [3]	福田 俊幸 [7]	堀池 奈月	本多 邦雄 [12]	松岡 重孝 [3]	矢野 大輔 [2]
カンセイコンサルタント株式会社	菊池えごま生産組合	熊本大学医学部医学科後援会 [25]	三の宮内科泌尿器科医院				

### 3. お名前・寄附金額の掲載を希望されなかった寄附者の皆様

個人 42名、1法人・団体

## INFO 第15回熊本大学ホームカミングデー及び第7回熊本大学九州連合同窓会を開催します

卒業生と学生、教職員との交流並びに母校との絆を深めてもらうことを目的として開催します。キャンパスツアーや大学の近況報告、学生によるサークル活動紹介等を予定しています。キャンパスツアーでは、重要文化財の五高記念館等をご案内予定です。

\*新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況によっては、中止させていただくこともあります。中止の場合はウェブサイト等でお知らせいたします。

- 【日時】 令和4年11月5日(土) 13:00～16:00
- 【参加対象者】 卒業生
- 【申込方法】 メールにて問い合わせ先に直接申し込み
- 【参加費】 無料 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、歓迎パーティ（飲食）はありません。
- 【問い合わせ先】 熊本大学基金・同窓会事業室  
TEL:096-342-3129 FAX:096-342-3280 E-mail:kuma-hcd@jimu.kumamoto-u.ac.jp
- 【URL】 [https://www.kumamoto-u.ac.jp/sotugyousei/sotsugyousei/home\\_coming/dai15kai-reiwa4/15-reiwa4](https://www.kumamoto-u.ac.jp/sotugyousei/sotsugyousei/home_coming/dai15kai-reiwa4/15-reiwa4)



五高記念館蔵（撮影：星野雅俊）

## INFO 「夢科学探検2022」を開催します

今年で29回目を迎える本イベントは、3年ぶりに対面での開催を予定しています。科学の面白さ、不思議さに触れていただける、約60件の展示や実験を準備しており、本学黒髪南キャンパスでは最大の一般向けイベントとなっています。

- 【日時】 令和4年11月3日(木・祝) 10:00～15:00
- 【場所】 黒髪南キャンパス(理学部・工学部・大学院自然科学教育部)
- 【参加対象者】 子どもから大人までどなたでも参加いただけます。
- 【参加費】 無料（事前申込不要）
- 【問い合わせ先】 工学部教務担当  
TEL:096-342-3522 E-mail:szk-kyomu@jimu.kumamoto-u.ac.jp
- 【URL】 <https://www.yumekagaku.kumamoto-u.ac.jp>（10月公開予定）



## INFO 第37回熊本大学附属図書館貴重資料展「悲劇の藩主 細川光尚」を開催します

3年ぶりに対面で開催する貴重資料展では、永青文庫研究センター長 稲葉継陽 教授の監修により、天草・島原のキリシタン一揆をはじめ、17世紀最大の危機の時代の諸課題へ正面から取り組んだ細川忠利の嫡男・細川光尚に焦点をあて、数々の貴重資料を、光尚の指南役だったあの沢庵（たくあん）和尚の自筆書状や、宮本武蔵に関する新発見資料とともに3日間限定で展示します。初日（11月3日）は講演会を開催します。

\*新型コロナウイルス感染予防対策を講じて実施します。新型コロナウイルス感染状況によっては、実施期間の延期及び附属図書館ウェブサイトへ、「公開講演会／第16回永青文庫セミナー動画掲載」のみ実施となります。変更の場合、附属図書館ウェブサイトにてお知らせします。

### 貴重資料展

- 【日時】 令和4年11月3日(木・祝)～11月5日(土) 10:00～17:00
- 【場所】 熊本大学附属図書館(中央館)1階 古文書閲覧室及びラーニングcommons



### 公開講演会/第16回永青文庫セミナー

- 【日時】 令和4年11月3日(木・祝) 14:00～15:30
- 【場所】 熊本大学附属図書館1階 ラーニングcommons
- 【演題】 「細川光尚とその時代——天草島原一揆・寛永大飢饉・御国返上——」
- 【講師】 稲葉 継陽 熊本大学永青文庫研究センター長 教授
- 【参加対象者】 どなたでも参加いただけます。
- 【申込方法】 参加申込みは不要です。
- 【参加費】 無料(定員90名、当日先着順)  
定員に達した場合、聴講をお断りする場合があります。

\*新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、附属図書館ウェブサイトの特設サイトにて動画掲載により実施します。

【問い合わせ先】  
熊本大学附属図書館 TEL: 096-342-2212

## INFO 第十一回紫熊祭を対面開催します

昨年はオンラインでの開催となった紫熊祭ですが、今年は新型コロナウイルスの感染状況を勘案しながら、可能な限り対面で開催する予定です。ミス・ミスター熊大コンテスト、熊大コレクションなどの人気企画をはじめ、各サークル・部活動によるステージ発表など様々な企画を用意しています。

\*新型コロナウイルスの感染状況によっては、規模を縮小、または中止とすることもあります。

～今年のテーマ～「challenge(challenge)」  
11という数字には、「始まりと創造」という意味があり、「紫熊祭も新たな始まりに挑戦したい」、「コロナ禍で困難な状況に立ち向かい、挑み続ける姿勢を示したい」という意味を込めて決定しました。本年度の第十一回紫熊祭では、三年ぶりの対面開催に向けて様々な挑戦をしていきたいという思いも込めています。

- 【日時】 令和4年11月3日(木・祝)～11月5日(土) 9:00～20:00
- 【場所】 熊本大学黒髪キャンパス
- 【参加対象者】 どなたでも参加いただけます。
- 【申込方法】 事前予約が必要な場合があります。  
事前予約、スケジュールやイベントの詳細は紫熊祭公式ウェブサイト、公式SNS等に掲載予定です。
- 【問い合わせ先】 第十一回紫熊祭実行委員会  
TEL:096-342-2182 E-mail:festival.sigma@gmail.com
- 【URL】 <https://www.sigmafes.com/>

